

Q10:「下北っていいなあ」と思う場面・機会等があればお答えください。(自由回答)

No.	回答
1	人柄、人情に触れたとき。
2	時間的な不自由と気分的な自由の caos。
3	旧川内村や大畑町、風間浦村の温泉が好きです。カッパの湯や薬研温泉、じょうじょうえんなど、特色のある温泉があり、パック旅行などでの PR がいいかと思います。仏が浦や野猿公園なども少し整備してツアーなどの充実がいいかもしれません。最近のご当地料理がいろいろあるので、全国的に有名にできるような B 級グルメの開発での PR も準備されているとすれば、今年は十和田で全国大会が開催されるのでチャンスかもしれません。バラ焼きやつゆやきそば、せんべい汁に対抗できるものが欲しいところかと思います。ゆるキャラは他地域より有名な印象です。
4	よくわからない。情報があまり入ってこない。しいて言えば大間のマグロ
5	むつ市以北は恐山含め自然環境が豊かで、夏であればドライブに相応しいと思います。
6	2年間住んでいましたが、人柄が良く仕事があれば移住してもいいかなと思うほどでした。
7	人情深い気がする。意地悪な人がいなそう。津軽と比べて。イメージです。
8	下風呂温泉とイカサマレース
9	食べ物が新鮮。
10	青森自体がイナカなので、下北だから「いいなあ」ってのはないなあ
11	海に面している地域なので、快晴のときに道路を車で走っていると、景色が良くとても気持ちがいい
12	仏ヶ浦のなんとも神秘的な景色が大好きです。特に、夏には、どこをとっても風景がきれいだと思います。
13	自然があるだけ！っていう感じが逆によいとも思う。下北に向かう道中にぽつんと廃墟が出てくるのも逆にわくわくする。
14	海産物がおいしいと思います。例えば、鮫鱈、本マグロ、ウニ、いか、サーモン等。自然景観もすばらしい(少し厳しい面もありますが・・・)と思います。尻屋崎、仏ヶ浦、薬研溪谷、恐山(自然景観としてすばらしい)など。
15	釣りや登山で出かけています。
16	歌舞伎井を食べることができる！出汁の昆布の品質が高すぎる！
17	新鮮な鮫鱈の肝が食べられること。
18	郷土芸能(能舞など)
19	自然がいっぱいのイメージ
20	芦崎湾の白鳥
21	伝統芸能が継承されているところ、自然が豊かであるところが最大の魅力であるが、最近の動きとして大湊川内分校が廃校寸前のところ町民の力と、高校生の活動で受験する人が増えて来ているとのこと、今後全国から受験生の応募がくるような魅力的な高校になることを期待しています

	大畑の海峡サーモンに期待しています、深浦サーモン事業が安定してくれば、青森のサーモン事業が全国区になることを期待していますし、実現可能な事業と思います。
22	地元の人が交通機関が少なく、困っていた時に、次のバスの時間や場所を教えてくれた。
23	あんこう・まぐろの話が出てくるとき
24	人間が優しい感じがする
25	津軽半島だけが歌で有名になったが下北半島もなかなか渋い所だから皆様訪れて下さい
26	うに・あわび・あんこうなど好きな海産物がおいしい
27	まぐろが美味しそう
28	海の幸が豊富！
29	海がきれい
30	神秘的で、なおかつ風光明媚な自然との調和…。
31	テレビの紀行番組などでその魅力を取り上げられたとき
32	広大な土地
33	自然がたくさん
34	食べ物がうまいと思う。
35	伸びやかな(であろう)自然環境。
36	佐井のうに、地まきほたて、寒立馬、大間まぐろ、恐山など、唯一無二のものがたくさんあって、遊びに行くにはとってもいいです。ちょっと遠いけど。
37	山の奥深さ
38	夏涼しい。
39	冬を除く暖かい季節
40	海沿いの眺めがよい。桜をゆっくり観れる。
41	数年前まで住んでいました。市役所の近くや住宅街の中をカモシカが悠然と散歩する本当に自然豊かなところだと思います。朝の通勤時に突然車の流れが止まったと思ったら2頭のカモシカがバイパスを横断していたりとか…。人との交流はほとんど記憶にありませんが新鮮な魚介類など食べものはとてもおいしかったです。
42	自然を楽しむ
43	訛りが新鮮に感じて自分も話してみたいくなる
44	豊かな自然、美味しい食材
45	自然が豊富。マグロが獲れる。
46	わからないが風光明媚なところのようだ
47	海の見える景観
48	魚介類が新鮮で美味しそう
49	自転車一周イベントや、自転車含め二輪での旅行。 ツールドフランスのような何日もかけるものではなく、一日開催で終わる全日本クラスのレースを引

	張ってきたら、面白いと思う。
50	自然豊で、食べ物がおいしい
51	自然が多いところ。
52	マグロが美味しい。
53	まぐろ
54	青森に行った事が無いから分からない
55	先日テレビで松山ケンイチさんが「下北への愛」を本当に熱く語っているのを拝見しました。下北地域を訪問したことが無いので実際のところはわからないのですが…正直イメージがあまり良くない。楽しめる事が何もない印象です。松山さんが紹介していた内容を聞いて、ちょっと行ってみたいな、と思えました。地元の方の地元愛が大切な要素だと思います。
56	以前、オートバイのツーリングで行き、露天風呂や自然の景色が素晴らしかったです。またツーリングしたいです。
57	温泉と自然がいっぱいでドライブには最高
58	以前むつ市に2年ほど住んでいましたが、地元の人が朗らかで、楽しく過ごせました。その時に友達になった人とは今でも付き合いがあって、年に1回はむつに遊びに行きます。下北の人は人情味のある所がいいですね。
59	自然の美しい景色がテレビに出た時。
60	季節
61	太平洋岸に小さな湖が点在していて、上から眺めるときれい
62	・食べ物がおいしい ・自然風景が独特(荒涼とした感じ) ・昭和時代の雰囲気が残っている
63	下北は旅行で行きましたが、観光するには良いところだと思いました。大間でマグロを食べ、仏ヶ浦、恐山、尻屋崎を観光しました。特に尻屋崎では海と緑と寒立馬がとても素敵な景色でした。
64	見所は沢山あるのに…生かしきれていないところが下北らしいというか
65	大間のマグロがある 自然豊か
66	神秘的な場所
67	ウニがおいしいこと
68	また訪れたい場所は、恐山 釜臥山 尻屋岬 北洋館
69	自然
70	やはり一度は恐山へ行ってみたい。
71	綺麗な海
72	夏涼しい
73	あまり行かないので何とも言えない。
74	自然と色が豊か

75	自然豊かで美味しいものがたくさんあるというイメージです。齋村のウニとか、大湊の潮干狩り、陸奥のお祭り、仏が裏など、観光や食べ物のおいしさが満載のような気がします。紹介される TV の画面を見ると言ってみたいなと思います。
76	自然が豊か
77	演劇等の文化面の活動が盛んであること。尻屋岬や仏ヶ浦の海岸沿いの雄大な自然環境と神秘的な恐山という観光スポットがあること。
78	ローカルな店舗が今でも残っていること。
79	海産物がおいしく海が素晴らしい！
80	テレビ映像を見た時に自然環境の豊かさを感じました。
81	厳しい場所のイメージしかないです
82	恐山 曹洞宗 だった と思いますが 道元さんと あまり 結びつきません慧
83	明るく前向きな人が多いイメージ
84	地質学的に興味深い場所がたくさんある。 毎日尻屋崎に行けば寒立馬に会えて、今日はどこにいるかわくわくする。朝は昆布やウニやらを取りにくる漁業を生業とする人たちの姿があり、その人たちとあいさつを交わすのも、ほっとするひとときであった。 以前ジオツアーを進めるための協議会が開かれていたと思うが、最近はあまり新聞・テレビでも見聞きすることが減った気がする。せっかく県内外の大学生や若い研究者が下北に注目しているのだから、地元の資源とともにもっと活用してほしい。 以前尻屋崎での研究を行っていた者の一意見。
85	話し方が津軽と違って柔らかい印象。
86	手つかずの大自然がたくさん残っている。人が温かく、とても親切。観光客が少ない。などなど、まだまだありますが、とても書ききれません。
87	佐井村の旅館に泊まった時に、格安旅館なのに余すほどウニが出てきたこと。魚介類。
88	時間のスピードがちとちがう
89	海がきれいだった
90	恐山の風景。
91	暖かい地方出身なので、冬の過ごし方など自分が経験したことのないようなところに惹かれる。方言もテレビで見たりするけどとても興味深い
92	自然環境に恵まれている。
93	初夏から初秋までの季節。寒さが厳しい中でのあんこう鍋のお祭り(?)
94	海産物が美味しい
95	豊かな自然
96	むつの桜は綺麗だと思う
97	人とのふれあい

98	旅行に行った際、関わったすべての人が親切であたたかかった事
99	テレビなどのメディアに取り上げられる機会が多い。1日に一度は、テレビ画面で下北の自然を見るような気がする。
100	昔はとても海産物がおいしかった。
101	大間のマグロ 仏が浦
102	母の実家があるので時々魚介類を送ってもらおうとやはりおいしいと思います。
103	景色が美しく食べ物が美味しい
104	寒立馬は冬だけではなく、夏も見たい。薬研温泉の露天風呂は、本当に素晴らしい。もっとアピールすべきでは。
105	首都圏で見られない大自然が魅力
106	おいしいものを安く食べられる
107	最初に訪れたのは、46年前自転車で日本一周旅行で立ち寄りましたが、静かで景色が良く、美味しい食べ物を食べた記憶が一杯です
108	自然に囲まれていて魚介類や山の幸がいっぱいである。
109	厳しいながらも豊かな自然環境と、大間のマグロや地元の野菜山菜など
110	近所に下北出身の方がいてあまり楽天的な話を聞かないのでプラスのイメージがありません。
111	食べ物がおいしそうイメージがあり、ウニまつりはチラシなどを見て行きたいなあって毎年思います。また、宿泊施設も安くてゴハンがおいしそうイメージがあります。
112	同じ青森県でありながら、青森県でないような気がするのがいい。。
113	民宿”みやの”いい宿です。
114	春になってすぐの頃に行きましたが、天気がわるくて、明るいイメージがありません。晴れた日だと、海がキレイで、良いと思えると思うのですが。
115	広大な土地
116	景色が素晴らしい
117	私は下北半島へ旅行に行ったことがないので良く分かりません。
118	結婚式の披露宴に参列したときに、3~4時間もの披露宴ですごい人数が集まっていた時に新郎、新婦にご祝儀が貯まるまで余興を披露して大賑わいでみんなの気持ちが素敵だとおもいました。
119	恐山は大変魅力的です。何度でも行きたいですが、交通が不便で車がない私にとっては行きづらいです。残念です。
120	独特の霊気があり、自然と考える時間を持てる場所
121	自然豊か
122	自然が豊かです。
123	観光スポットが多く、海の幸も美味しい。くるまでの一周ドライブが楽しかった。
124	津軽海峡と太平洋が近く釣りが楽しめる。
125	海の近くっていいのいい

126	自然が豊かなことでしょうか。県外なので、想像です。
127	県内なのに旅に行く気分になること、すこし遠出だからとまりたくなる。
128	恐山の温泉小屋に、犬猫はいるべからず、という看板あった。 恐山の犬猫は文字よめるのだとおもった。
129	飲み会の次の日の朝に焼き干しで出汁をとった味噌汁にフノリいれて飲んだ時
130	素朴な雰囲気。
131	岩手県に住んでますが、以前に大間町に2年住んでいました。自然環境や古い歴史を感じさせるもの、北前船に関わることなど興味深いものがたくさんあることを強く感じました。ただ、大間や佐井ではいざというときに拠点都市のむつ市はもちろん、青森、八戸へのアクセスの悪さはとても苦痛でした。それが長所をプラスマイナスゼロにしている感があります。一般道の他の高規格道路の整備を希望します。もっと下北を行きやすい場所にして欲しい。
132	生まれ育ったところなので、人生のベースとなっている。食べ物、空気、水がおいしい。釜臥山をみるとホッとする。雇用と医療が充実すれば、本当は帰りたい。
133	人々の人情
134	テレビでグルメリポートを見たとき
135	前に仕事で大間に行きました。大間でウニを食べたのですが、人生で一番美味しかったです。
136	どこに行っても自然がたくさん
137	四季がはっきりしている。
138	特にない。弘前だけど、こっちが良い。
139	仏ヶ浦の景色があまりにも綺麗で、神秘的だと思います。どのアングルから写真を撮っても、素晴らしいと思います。また行きたいと思います。
140	下北半島をぐるっと一周しましたが、道沿いにいろいろと見るところがありおもしろかった。かなり時間がかかりましたが…
141	自然豊かな場所が多いので、環境が良いと思います。脇野沢などキャンプを楽しめる場所もあるのが良いです。全国的に有名なユースホステルが脇野沢にあるのも、注目されやすくて良いのではないのでしょうか。
142	訪れると、よく来たねを温かく迎えてくれる。 知り合うと長く仲良くしてもらえる。 住むと、これからずっと生活をともにするというつながりが生まれる。 食べ物がワイルドで濃い。 空気や光が淡く、透明で、自然が、何も介さずに直に近づいてくる。 詩人になれる、詩が生まれる意識の深い部分を追体験できる。
143	海が近く
144	真冬の吹雪の中、尻屋岬でじっと立っている寒立馬のその姿は、感動です。力と勇気を、いただきます。いつか、その姿を直に見たい！

145	自然が豊か
146	陸奥湾と津軽海峡、太平洋と海に囲まれて、自然や風景を味わうことができる
147	青森県の中でも、下北ならではの景色がみれるところ
148	人。人情こそ財産です。
149	先祖供養で恐山しか行った事がないので良くわからない。
150	大間のマグロがあるところ。
151	海が近い
152	厳しい自然の中でも美味しい海産物などが獲れるので食べに行きたい。
153	祭りやイベントが多いところ
154	人が親しみやすい。
155	ぬいどう食堂のウニ丼が旨いことを始め、食べ物が豊富。
156	祭りのときの地元の人たちの絆の強さ
157	食べ物がおいしい。大間のマグロ・風間浦のアンコウ・鶏卵等 行きたいけど遠いので(野辺地からむつまで時間がかかりすぎる)、青森市・弘前市・八戸市で下北の食べ物が食べられたら最高です。
158	尻屋崎の風景が良いと思います。
159	おいしい食べ物が大盛りで提供され、なにより友情に厚い。
160	風光明媚な自然が多く、しかもそれぞれが特徴的なので、観光に行くたびに癒される。
161	人が素直であたたかい。いろいろな自然に触れることができる。
162	釜臥山が美しく紅葉をしたとき。薬研の美しい緑や紅葉を見たとき。恐山街道の美しい緑、紅葉を見たとき。夫がいい魚を釣ってきたとき。夫が山菜を採ってきたとき。
163	たべものが美味しくて、小さな、地域の人がみんなで参加できるあたたかい祭りが集落毎にあって、楽しい。温泉も各地にあって飽きることがない。
164	佐井や大間で海鮮系のものを食べたとき、都会に行くとこの値段で食べられないんだなあ、と思います。
165	空が青空で釜臥山が間近にきれいに見えるとき。
166	恐山も含めた下北ならではの自然環境。距離が遠く不便で寂しい感じもあるが、俗化していないところがいい
167	食べ物(特に海産物)がとても美味しいです。 また、地元の祭りに対する誇りと熱心さが非常に伝わり、感心しています。
168	大間から尻屋崎までの津軽海峡に面した海岸線
169	人情がある。通勤族や観光客が多いためか、知らない人に対する気遣いがある。
170	早朝の新鮮なイカの刺身の味、歯ごたえ。釜伏山から見るむつ市の夜景。雄大な尻屋岬の灯台と寒立馬。津軽海峡の夏の漁火。漁船のいる港の風景。大湊駅付近にある「蛸」のアランドロンカレーの姿・形・味が最高。艦船がいる大湊湾の風景。フォルクローロ大湊へ宿泊し、近くの居酒屋で一杯。

171	山にしても海にしても自然が豊富で、サイクリングが非常に楽しい。 景観を楽しみながら下北を巡る旅もしてみたい。
172	町おこしに真剣な人たちがたくさんいるところ
173	魚介類が豊富で、温泉等自然環境に恵まれている。
174	温厚な人が多く(大間を除く)、ゆったりとしている
175	20年以上前にむつ市に2年間住みました。 職場の皆さんもとても親切で、飲食店のおじさんおばさんにも良くしてもらい、休日は下北半島のあちこちに遊びに行き大自然を満喫。好きでなかった魚介類も本当においしくて大好きになり、転勤でむつ市を離れましたが、それ以来、毎年1回は泊まりに行き、おいしいモノや大自然を満喫しています。下北は「いいなあ」って思う事だけです。
176	美味しい地元の刺身、料理(あぶらめ、いか、鯛、鮫鱈、雲丹、鮑など)
177	春の桜、お盆、秋の紅葉、雪どけの時期。
178	自然がいっぱいで食べ物もおいしいのですが、何しろ行くのに時間がかかるのがネックですね。
179	地元の人の方言が温かみがある。地元の人がとても優しい。
180	下北の人にはフロンティア精神を感じる。津軽、南部にこだわらない自由さを感じる。地理的に隔絶していることが神秘性や期待感につながっている。どんな仕掛けでも可能な可能性と柔軟性を持っている。
181	高校卒業し、1人で東京に住んでいます。 たまに実家に帰ると、住んでいた頃は感じなかったことが離れる色々と感じることがあります。 空気が美味しく、海も観れ時間の流れ方がゆっくりで穏やかな気持ちになれます。 食べ物も東京で青森の物を食べるより、はるかに美味しいです！ なかなか帰ることが出来ないときは、東京で青森の人が集まる場所で訛りを聞きながら飲んでます。
182	帰省したときには、いいところで生まれて育ったなあと感じます
183	手つかずの資源(自然環境、生活環境の両面)が豊かなところがいいなと思うのだが、活用する実行力、経済力に乏しいのが残念だ。
184	仕事の異動で3年間むつ市で暮らしたことがあります。妻と幼稚園に入学したての長男、生まれたばかりの長女との4人の新生活が始まりました。引っ越ししたてのころは「陸の孤島」というマイナスのイメージが強かったのですが、住んでみれば、同じ年代の転勤族の家族も多く、子供達もすぐに馴染み、妻も親しいママ友ができ、今でも交際が続いています。子供達がのびのび遊べるような、広い公園も多く、海や山と自然も豊富で小さな子供を育てるにはとても良い環境だと思います。病院についても良心的な小児科が何軒もあり、ずいぶんお世話になりました。大湊ねぶた、田名部まつり、海峡サーモンまつり、大間まぐろまつり、各地の花火まつりなどイベントも多く、休みのたびに出かけていた記憶があります。食べ物も海産物は当然ながら、東通牛などの肉も美味しく、しかもすごく安かったという記憶があります。函館にも大間からのらフェリーで何度か遊びに行きましたが、航海時間が短く、船酔いする前につくことが出来ました。転勤族の私の職場では良く「むつの三泣き」という言われておりますが、「むつに転勤が決まって不安だという泣き」はほとんど感じる事が無く、「住んでみ

	て周りの住人の人柄の良さに泣く泣き」と「むつから離れなければならないときにもっと残りたくて泣く泣き」については、本当に実感させられました。その後むつから転勤しても「またむつに戻りたいという泣き」も増えました。今後も下北地方への転勤の可能性はありますが、今度は単身赴任という形で前回以上に下北を楽しめるのではないかとわくわくしています。
185	夏が涼しい
186	38年間住んで、今年4月に仙台に移転しました。最初は海が見えないことで非常にショックで今もホームシック気味です。 やはり、地形的に下北は海を抜きに考えられないところだと思います。 食、観光も自衛隊とのつながりなしには発展性はないと考えられます。 自衛官の転出入と中央へのPRをうまく利用して発展につなげていくことが重要ではと思います。 その特例が海軍コロッケ、アンドカン(漢字がわかりません)であろうと思います。
187	静かで建物が少ない。景色がいい。
188	自分が生まれ育った地域という愛着はある。
189	海の幸・山の幸食べ物が美味しく、温泉も様々あり、自然がたくさんで景色が良い。
190	飲食店をはじめ町の話方が優しい
191	仏ヶ浦海がきれいだった。海軍コロッケが有名で、初めて食べたがおいしかった。田名部祭りに初めて行ったが、風情があったが、ごみが散らかっていて残念だった。
192	海産物が美味しい
193	大手企業が少くない＝地域・地元色が強い＝景観を乱す建物が少ない
194	住みやすい
195	仏ヶ浦、大間崎、尻屋崎の馬等の他では見られない風景。海の向こうに見える北海道。
196	自然豊か
197	海産物が豊か
198	海に面している方角が多様なので、海沿いをドライブしてても風景に変化があっていい。仏ヶ浦の奇岩群はとても印象に残った。恐山は靈感に鈍感と思う私でも、独特の雰囲気を感じた。
199	下北地方については、残念ながら原子力関連施設が集中しすぎている傾向があります。これらが障害となりレジャー産業や観光開発関係者が進出するのを妨げている傾向があります。自然環境が素敵な地域ですのでこれ以上開発せずに現状のままでいけたらと思います。このためにも下北半島への交通網の整備を願うものです。
200	海の幸が豊富でおいしく、安く手に入る。
201	仏ヶ浦の広大な厳しく美しい風景は目を引く。 30年前に船から見た。他の観光地とは違う雰囲気があり、仏ヶ浦はもっとPRしてもいい観光地だ。

202	車を運転している事が多いのですが、海岸線を走る時の海と空の色、その季節の移り変わりは住んでいないとわからない魅力です。又、食べ物の美味しさは季節ごとに感動するほど皆に誇りたい。確かに人口は少なく流出も多いのですが、人が少ないのは魅力の一つ。都会の雑踏に疲れた人にはぴったりだと思います。冬は道路事情が悪く出かける機会も減りますが、籠ってゆっくりできるのも(籠るしかない?)のも魅力です。都会ではできない事、下北は沢山持ってます。
203	おいしい海の幸をテレビで観たとき、うらやましいなと思う
204	イカがうまい。自然はいっぱい。温泉施設はある(もう少し立派にして)
205	雄大な自然。へき地。
206	海と接点がある
207	野辺地駅で乗り換えた大湊線の車窓から釜臥山が見えた時。
208	雄大な自然に触れたとき
209	以前むつの方と接する機会があったのですが、すごく人が優しいイメージがあります。
210	田名部祭りや恐山大祭など他にない文化が魅力的。各市町村に残っている伝統文化がユニークである。
211	道路が混み合っていないこと。雪が比較的少ないこと(場所にもよるが)。夏が過ごしやすいこと。釣り場があちこちにあること。
212	自然が多い
213	私は八戸出身ですが、下北はやはり「自然がいいなあ」と感じます。いかにも作られた観光地っぽさではなく、あくまでナチュラルな雰囲気がほっとして好きです。
214	津軽や南部の人のように足引っ張りがいない感じがする。
215	まだ行ったことがないので、いいなあと思った場面や機会はないが、ぜひいつか全国的にも有名な大間のまぐろを食べてみたい?
216	下北で暮らしてみて、海と山を一望でき、食べ物が非常に美味しいことに驚きました。時間の流れが緩やかで、心休まる場所だと思います。
217	田名部祭り。若者が中心となって歴史を受け継いでいる感じがよい。
218	下北地域は素晴らしい自然が多くあり、また、新鮮な魚が安くて美味しい所です。 わたしは、休日に下北にある山を登ったり、カモシカラインにある遊歩道や水源地公園を散歩しているが、この散歩コースはちょうど良い程度に整備されているのにも関わらず、めったに他の人と行き交うこともないことから、ありがたいことに自然の絶景を独り占めし、周りに気を遣うこともなく大自然を満喫している。 また、下北での飲み会では、国内屈指と思われるが、美味しい海の幸をリーズナブルに食べることができる。
219	海、山が近くてドライブに良い。
220	食資源が豊富、全体的に食べ物がおいしい
221	温かい人たち。美味しい食材

222	夏の下北は涼しいイメージがありますね。
223	風や波等自然環境は厳しいが、その分天候の良い日は最高。
224	行ったことはないけど、テレビで紹介される食べ物がいつもすごいと思う。
225	豪壮なマグロ釣り
226	魚介が新鮮
227	マグロとヒバ林
228	むつ市内の昭和の雰囲気が残る街並み、特に呑み屋街。
229	仏ヶ浦に行った時は来てよかったと思いました。
230	自然がとても豊かであること。頻繁にクマが出没するが、林や山にはクマを含めた動物がいて当たり前なので、うまく共存して欲しい。
231	自然が良い
232	①四季折々の山菜・超一流の魚介類など一年中美味しい物が食べられる。 しかも、自分で採取したり調達できる。自給自足が可能な食の宝庫である。 ②思想犯・敗戦者など歴史的に魁となった祖先が移住した土地であると思う。 質実剛健で知能優秀な人物が多いのではないかと思う。 ③最後の秘境と言える自然豊かなまま残っていること。
233	自然の風景がテレビなどで映し出された時。また、人々の優しさがわかるふれあい等が紹介された時。
234	下北は恐山を代表するようにやや暗いイメージがあります。しかし、一方、大間のマグロのように明るいイメージもあるのでそちらを中心に展開していったほうがいいのではと思います。
235	温泉
236	恐山のいたこが 先祖の霊が乗り移ったところを見てみたい
237	先日仏ヶ浦まで船でいきましたが不便だしゆっくりできない。観光客が少ないのは仕方が無い事だと思うが、シライ内では外には出られない、弁当、御土産は売っていない。これでは観光客を乗せても売り上げが上がる訳がない。また仏ヶ浦までの連絡も時間的余裕が無く満喫することが出来なかった。陸路よりも早い船の有効活用を考え直すべき。
238	とにかく 寒いですね 冬も 夏も 気候が 激変しますね
239	・函館に近い ・カモシカが普通にいる
240	海産物が美味しい。
241	古い歌で恐縮です。「津軽海峡冬景色」のイメージがとても強く感じられます。寒い土地で、人口が少なくても、そこに住む人の心はこの土地にも負けないぐらい温かいのではないかと思います。時々、そこに住む人たちのテレビ等でインタビューを聞くことがありますが、皆さんとても明るくて魅力ある人が多いような気がします。
242	あまり手をつけられていないのが、良い。地味だけど、その土地の特徴を大切にしている。

243	下北と一括りにするけど、地域性や人間性が違うところが良い。 隣接の市町村が競争していないところが良い。
244	最近フェリーで下北に行きました。内陸で生活していたので船から広い海を見ることができ、とても清々しい気持ちになりました。また、海沿いの道は車でゆったりと走ることができたので、癒されました。大間では人々の温かさを感じました。全体的に自然が視界に入り、リフレッシュできたと思います。
245	車で周遊したが、広大な自然は、印象深い。残念なのは、散策する場所が、点であること。薬研溪谷ぐらいが散策として印象あるところ。
246	松山ケンイチの故郷のイメージが強くあるからいいと思う！
247	四方が海なので、海産物がとてもおいしい。その割にはなかなか口にすることができない。去年仏ヶ浦へ行った時、近くにあった露天の手作りところてんを食べたらとてつもなく美味しかった。ご近所に住んでる旦那さんが大畑出身で、実家のお母さんから送られてくる新鮮な海藻類にびっくり。都市部で食べたことがないような食べ方もたくさんあり、もっと紹介してほしい。(けいらんや、大間のマグロだけでなく)
248	自然豊かな海や山で釣りをしているときや、地域のお祭りに参加しているとき。
249	住んでいて、安全だと思います。
250	食べ物は全般的においしいと思います。 特に海産物は他の地域ではなかなか食べられないような鮮度のものを口にすることが出来ます。 親族に漁師がいますが、ひらめやあわびなど日常生活の中よく出てきていたので、大学時代に地元を離れるまで、高級な海産物だとは思いませんでした。
251	私は、70年ほど前に下北に誕生して、親の仕事の関係で津軽に移住しましたが、今では下北に大容量の発電所が造られ安全・安心が確立した施設となれば、将来の発展に期待が持てると思っています。
252	自然環境に恵まれていて癒されそうな感じがする
253	ちょっと遠出したいなあと思ったときに、ドライブするのにピッタリ。大間や仏ヶ浦など。 魚介類も美味しい！
254	北海道が近いこと。
255	なんと言っても恐山。
256	大量旗を振って出迎えていること
257	いい
258	大間でマグロやタコ等の魚介を食べたこと、本州最北端というブランド、恐山の特異な雰囲気
259	美味しい食べ物が豊富にある！あとは手つかずの自然
260	かつて子供の頃に3年、仕事で7年の10年間むつ市に住んでいました。ちょっと気分転換に釜伏山にいたり、釣りやドライブにでかけたり、すぐに景色の良い場所に行けるところが良いところだと思います。少し頑張れば尻屋崎や仏ヶ浦、薬研温泉などもっと良いところがあり、美味しいものもたくさん

	食べられました。お金がかからず楽しめるが多かった気がします。
261	下北の雰囲気
262	一度、寒立馬を見てみたい。
263	テレビでわさおを見たとき。
264	自然が豊富
265	地元のおじちゃん・おばちゃんと話した時。
266	町中でカモシカに出会ったり、ミズバショウの花が見られること。
267	美しい自然があり、美味しい食べ物があり、とてもとても行きたい。しかし交通が不便で気軽に行けない。
268	まぐろがおいしいという印象
269	景色が素晴らしい。山の緑と綺麗な海を見ているだけでいい所だと思う。美しい自然をそのまま残してほしい。 海産物が何でも美味しい。毎日の食事に下北産の昆布出汁はかせない。今まで他県各地に住んだ事があるが、下北産の海産物が一番です。
270	温泉に入っているとき
271	山菜、魚介類、肉等食べ物がおいしいところ。特に魚
272	新鮮な食べ物が手に入りやすく、人の心が温かい。
273	不思議な空間。懐かしさがある
274	函館が近い。食事が豪華。そんなに雪が多くない。(雪かきが楽) 海、川ともに釣りスポットが多い。
275	海鮮食品が上手い
276	旅行から帰ってきたとき…横浜付近で釜臥山が見えるといいなあって思います。 最近ですけど…よその地域では大災害に見舞われていますが、下北は大災害がないですよね？ それって住みやすいつてことじゃないですかね。
277	仏が浦や尻屋崎に代表される大らかで長閑な自然は癒されます。また、恐山のような他にない心の 拠所になるような場所、佐井村のウに井など、見所や食べ処がたくさんあり、惹かれます。人がたくさん訪れないのが悩みかもしれませんが、人の少ないのも魅力です。
278	酒のつまみに合う魚介類が美味しいこと
279	下北のウニ丼は最高。ウニは時期が限られるので、他の海の幸を活用した海鮮丼を大いにPRしたらよいと思う。
280	高い建物が少ないのでどこからでも釜臥山が望め、山が四季を知らせてくれる。静かで夜は真っ暗になるので星が綺麗に見える。釜臥山からの夜景も素晴らしい。山と海両方が近いために新鮮な山海の幸が日常的にいただける。必然的に下北の人はグルメだと思う。
281	恐山があるところ。テレビで大間のマグロ漁をみたとき。

282	近場に、スキー場があり、ウインタースポーツ等が手軽に出来ること、山菜等の豊富であることと、海も近いので釣り等を楽しめることが、良いところである。最近では、あっちこちで災害等があるにも拘らず、災害等が少ない、大きな災害等は、この下北に住んで、無かった様である。
283	生まれ育ったところだから愛着がある。
284	自然が豊か
285	本当に豊かな自然が残されている。どの季節でも美味しい食べ物がある。広い下北のどのエリアにも誇れる名物がある。温泉がたくさんあり、そのそれぞれに特徴がある。北前船に由来する文化が各地に存在する。とつきにくいのに、打ち解ければすぐ温かい人柄。近所の人と助け合って生きる習慣が残っている。
286	様々な場面において、都会のような人ごみにならないので、疲れやストレスなく過ごせる。
287	大湊ネブタ
288	気取らず、肩肘張らず生活できること。人に限らず、思いもよらない縁から物事が解決したりする地域性。(探していた人が友達の友達だったり、困っている人が身内だったり)
289	梅雨がない。台風が大概温帯低気圧としてくる。災害が少ない
290	下北でいいと思うところはない。地域の人口の減少が著しい。これに対する施策がまったく感じられない。「観光資源がある」と事あるごとに首長が言っているが、人口集中地域から足を運ばせるだけの魅力はまったくくない。原子力施設の立地地域のイメージしかない。
291	アウトドア(キャンプ・釣り・BBQ・海・山・川など)する場所に困らないのがいい。
292	生活全般にわたって素朴である。人ごみの都会から帰ってくると、ホッとする。大都市圏との距離が遠いというハンデはあるが、条件が許すのであれば、ずっと住み続けたいと思う。
293	人と人のつながりがある。また、知らない人同士でも助け合いの精神があるので、困っている人がいると声をかけたりしている。買い物をしている、子どもが泣いていると、子育てを引退した世代の人たちが声をかけたりしている光景をみたときに、良い町だな、と感じた。
294	豊かな自然。(主に海に面している地域が多い。下北周遊も意外と楽しい^^)
295	いいなあとは思わない。
296	自然災害が少ないこと。 台風は滅多に上陸しないし、雪も青森市ほどは降らない。
297	海や山などの美しい景色を見た時
298	質の良い食材が多く、日常的においしい食べ物に触れるとき。
299	人柄が良い
230	人の温かさ 義理と人情がある
231	都会では無くなっている、近所付き合いがある事
232	下北の人と接した時
233	たまたま、彼氏が下北の人で遊びに行きました。人も暖かいし、自然がすごい。移住したくなる魅力を最大限に引き出せればな～思います。

234	知り合いから野菜や魚介類をもらえる。
235	県外に住んでいるのですが、年に1度の帰省の際はいつも自然が豊かで食べ物も美味しくて、短期間しか滞在出来ないのももう少しいたいな……と思う所です。
236	海に囲まれていて、いろんなところで釣りができる。自然豊かで、子供が自然の中で遊ぶにはいいと思う。
237	住人の方も基本あたたかく、海も山もあるし美人も多いし！みんな頑張り屋さんです
238	「下北って」、というより「地元っていいなあ」と思います。 田舎ならではの隣近所の関わりや、話が伝わるスピードは嫌な場面もありますが… 裏を返せば、皆、親兄弟・家族・親戚と思って思いやりを持って接しているということかな？と思います。 夏や秋には祭りがあって、皆地元の祭りが一番と思って、それに合わせて帰って来て、思いっきり楽しむ！最高です！あとは、温泉・自然・食べ物も良いし、昔よりは暮らしやすくなったので良いかな？
239	漁業が盛んであること。
340	津軽海峡とむつ湾に面していることから、別な釣りを楽しむことができること。
241	「ここがいい」ということではなく「故郷だから」という切っても切れない情みたいなもの。 ただ、海、山、空のいい景色を見ると、捨てたもんじゃないなあと思います。
242	家に鍵をしなないまま出かけても安全なところ。(他者の入り込みが無い等医だけかもしれないが。)
243	新鮮で美味しい食材、豊かな自然環境、懐かしさを感じさせる農漁村の風景(実家が県外の田舎なので)
244	川内祭りのときには知らない人でも祭りの一員として迎え入れてくれる。
245	海に山に自然がたくさんあるところ。
246	飲食関連のお祭りやイベントが多く、おいしいものを食べられる。
247	(人口が少ないから)凶悪犯罪が少ないこと
248	近所のスーパーに、地元でとれた新鮮な魚や野菜などが普通に並んでいること。食に関しては本当に贅沢な土地だと思う。
249	素晴らしい食材が多い。食材で四季を感じる事が出来る。
250	美味しい食べ物、豊かな自然、温泉。面白いことを企画、実行している人たち。
251	四季がはっきりしていて、春夏秋冬ともに自然を感じる事ができるところ。四季それぞれの食べ物もとてもおいしいところ。
252	半島で地理的に閉鎖的な部分があり人材の有限性を感じる一方で、様々な活動、イベント等では参加者やスタッフなどの顔が見える(わかる)ようなところもあり、関係が作りやすいところもあるかなと思います。
253	お魚が新鮮でおいしいイメージがあります。 マグロも安く食べることができてうらやましい
254	中高の同窓会の仲間と会ったとき。

255	都会の喧騒から離れた住環境
256	首都圏等のイベントで下北出身の方と話をしたとき。今現在下北で生活することができて、よかったなあと思います。 また、出張等で下北を離れ、居酒屋に入ってお刺身を注文したとき。下北の魚の旨さをしみじみ感じます。
257	自然が多い
258	温泉！
259	大自然
260	自然が豊かで新鮮でおいしい海産物がすぐ食べられる点。
261	・海の幸が豊富である。 ・自然豊かである。
262	東北地方自体に行ったことがなく、「いいなあ」と思うところと言われてもわかりませんが、青森、秋田、山形には1度ぜひ行きたいと思っています。それは私の知らない文化、料理、歴史などがあると思ひ、ぜひそれらに触れてみたいからです。
263	下風呂温泉に入って飲んだ時
264	下北をアピールする写真を定期的に募集して展示する場が欲しい
265	食べ物がおいしい
266	・転勤族が多いので外から来た人を受け入れやすい地域性。 ・お祭りやイベントが大好き ・各地域の歌舞伎や能舞、餅つき踊り、神楽などの伝統が守られ受け継がれている。 ・おいしい食べ物が豊富。 ・市や県の若手職員たちが新しいことや面白いこと、地域を盛り上げようとするにとっても熱心。